

工藤篤子メールマガジン 145号 2009.09.15

●マーティン・オットー(ハーバー・ミッション)

お元気でいらっしゃいますか？

ヘルシンキとローマで、心を熱くした8月を過ごしたあと、9月に入ってからは、対照的に、「静」の時を過ごしています。2週間前の週末には、ドイツの最北端、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン州の小高い丘の上にある牧場(写真右)で、3日間、静思の時を持たせていただきました。

この村に住む敬虔なドイツ人クリスチャンご夫妻が招待してくださったのですが、散策しても、ほとんど人には出会わず、たまに遠くから聞こえてくるのは、ホルスタイン牛の鳴き声だけという、実にのどかなところでした。静かな、主との交わりの時を持ち、夜には、ご夫妻とともに、実に幸いな分ち合いと祈りの時を持たせていただきました。



●マーティン・オットー

日曜日には、お二人の行っている教会と一緒に行きました。そこで、思いがけない名前を聞いたのです。

礼拝の最後に、牧師先生が、「今日は、私たちの教会に、Hamburg Seemannsmission (ハンブルク船員伝道) のマーティン・オットーさんが来ています。心から歓迎します！」と言いました。その時、皆、彼の方を向いて拍手をしましたが、私の座った席からは、彼の姿は全く見えませんでした。終わってから、彼に挨拶をしに行こうと思ったのですが、途中で、知り合いのピアニストに偶然会い、彼女と話しているうちに、マーティンは帰ってしまったようで、残念ながら話しをすることができませんでした。

マーティンとは、私がドイツに宣教同労者としてやって来た1987年に会いました。彼は、聖書学校の学びを終え、ハンブルク港で、ハーバー・ミッション(船員伝道)を始めたところでした。私は、ドイツへ来てから、時々、福音派の教会の礼拝賛美に招かれるようになり、そのたびに、ハーバー・ミッションの働きを紹介するために招かれていたマーティンと、あちこちの教会で出くわすようになりました。ある日、ドイツ語がなかなか上達しない自分が悲しくなって、彼に自分の語学力の足りなさを嘆いたことがありました。すると、彼は、少年のような目で、「ドイツ語がうまくなくても大丈夫！僕だって、小学生レベルのつたない英語で伝道してるんだから。イエス様の Calling (召し)があるなら、もうそれで十分！」と言って、励ましてくれたのです。

その数年後、また、マーティンと教会で会いました。その時、彼が涙ながらに証ししてくれたことを、私は今でも忘れることができません。

マーティンは、毎朝4時に起きて奥さんと一緒に港に向かい、ハンブルク港に到着する船に乗り込んでトラクトや聖書を配っていました。やがて、船の中で、聖書の学び会も開かれるようになりました。ところが、何人かの船員たちが心開いた頃に、彼らはまた船に乗って、去って行くのです。その後は音信不通……。そしてまた、別の船に乗り込んで同じことをするという日々が続きました。そんなことが何年も続いたとき、彼は、何も実を見ることができずに、いろいろな思いで心が塞がれるようになりました。「ニュースレターに何を書



けばいいんだろう」「いつまでたっても実が見えない働きに、支援者たちは、引き続き援助してくれるだろうか」・・・。

そして、ある日、港からの帰りの車の中で、こうつぶやいたそうです。「神様、疲れました」。すると、心の中に、主の音が響いてきたそうです。「マーティン、お前は、奉仕をするために生きているのか、それとも私のために生きているのか」。その瞬間、マーティンの目からハラハラと涙が流れました。「ああ、主よ、そうでした！自分の目はイエス様に向いていませんでした。人に宣伝できる奉仕をすることはばかり願っていました」。主の声は、さらに続きました。「マーティン、お前は私のためなら、トラクトと聖書の配布だけに生涯を捧げることができるか？」「はい、イエス様、あなたがお望みなら、生涯、港でトラクトと聖書の配布を続けます。何があってもあなたのためだけに生きます」。そう告白した瞬間、マーティンの心に喜びが溢れてきました。そして、今度は喜びの涙にむせびながら家路についたのでした。

あまりにも忙しくなって、私の目が奉仕だけに向きそうになるときに、よくマーティンの証しを思い返します。

「奉仕のために生きるのではなく、イエス様のために生きること」

そしてこの9月、3日間の静思の時のしめくりに、「マーティン・オッター」の名を聞き、もう一度、そのことを心にしっかりと刻み付けることが出来ました。

ちなみに、マーティンの働きは、あの後、大きな実を結んでゆくようになりました。

今では、世界各国の主要港で彼と同じように船員伝道をしている人たちとの連携プレイで、パシフィック・チャーチ（海上教会）の働きをしています。そして、あの時小さかったふたりのお嬢さんも、今ではステキなレディになり、ハーバー・ミッションのスタッフとして働いています。

（写真右：マーティン一家）



●お祈りください

いよいよ、来週、日本に出発いたします。

どうぞ以下の予定のためにお祈りください。この者が、ひとつひとつの賛美奉仕において、霊とまことをもって主を賛美し、証しすることができますように。また、主が人々の心に、賛美を通して、ご自身の救い、癒し、愛を届けてくださいますように。お祈りください。

9月28日～30日、AKMM 世話人+関東祈り会リトリート

10月4日（日） 仙台福音自由教会 教会開設20周年
記念コンサート 14:00～15:30
連絡先 022-277-1435

10月10日（土）上田福音自由教会 秋の音コンサート
（あきのねコンサート）14:00～16:00
信州国際音楽村 ホールこだま 連絡先 0268-25-3346

10月11日（日）仙川キリスト教会 14:00～16:30
地中海ソプラノ工藤篤子コンサート 連絡先 03-3309-
1788

10月18日（日）インマヌエル中目黒キリスト教会 チャ
ペルコンサート 14:00～16:00
連絡先 03-5456-8361



10月24日(土) 岩井キリスト教会(茨城県) 秋のチャペルコンサート 15:00~ 連絡先 Tel Fax 0297-35-1448

10月29日(木) AKMM チャリティーコンサート 「ミャンマーサイクロン被災救援のため」 9:00~20:30
北浜スクエア(VIP 関西センター9F)
連絡先 06-6226-1334(「ミッション宣教の声」方)

それでは、次回は日本からメルマガをお届けいたします。
青空の美しい9月、皆様の上に、イエス様の溢れる愛と恵みがありますように!

工藤篤子